

平成 27 年 8 月 20 日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	浜田水産事務所	氏名	寺戸稔貴
派遣先 団体名	NPO法人 わきあいあい		
<p>① 研修の日時 8月3日(月)～8月7日(金)の5日間</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>●夏休み！はまだ自然冒険村2015年プログラム！のスタッフ</p> <p>●東京都の若年女子を受け入れるためのシェアハウス準備作業</p> <p>・8月3日(月) 午前中は、参加者の小学生が夏休みの宿題をする時間だった。子どもたちから宿題について質問があれば、一緒に考えて質問に答えた。宿題の後、スタッフと小学生の交流を深めるため、フルーツバスケットやハンカチ落としを一緒にした。その後、農村散策をした。スタッフは、体調不良者が出ないように子ども達の様子を見ながら散策を行った。午後は、寺で子ども達と座禅の体験をした。</p> <p>・8月4日(火) 午前中は、子ども達が夏休みの宿題をした後、海水浴の監督をした。子どもたちが熱中症や水難事故にならないように注意した。午後は、佐々木理事からNPO法人わきあいあいの概要や取組、東京都の若年女子を受け入れるためのシェアハウス作りの説明を受けた。</p> <p>・8月5日(水) 午前中は、子ども達が夏休みの宿題をした後、秘密基地作りの補助をした。ノコギリなど刃物を使って竹を切ることもあったので、子ども達が怪我をしないように作業は手伝いながら注意した。午後からも秘密基地作りを行った。完成した物は、ハンモックだった。</p> <p>・8月6日(木) 午前中は、子ども達が夏休みの宿題をした後、昔の遊び体験の手伝いを行った。体験の内容は、「はないちもんめ」「だるまさんが転んだ」「剣玉」「おはじき」「将棋」だった。子ども達が交流を深められるように一緒に参加して体験をした。午後からは、天野理事長とNPO法人わきあいあいの概要パンフレットと東京都若年女子用に配るシェアハウスの紹介チラシ作成を行った。概要パンフレットは、完成することができた。概要パンフレットには、NPO法人わきあいあいの住所・スローガン・団体概要・目標・活動内容とその写真等について記載した。</p>			

・8月7日(金)

午前中は、子ども達が夏休みの宿題をした後、夕涼パーティーの計画をした。子ども達が自分で献立を考え、調理するため、スタッフもアイデアを出して小学生でも作れる料理と一緒に考えた。午後からは、東京都の若年女子用に配るシェアハウスの紹介チラシ作成を行った。天野理事長や佐々木理事から意見をもらい、女性がどうしたら浜田に来たいと思えるかということ意識してチラシを作製した。内容としては、田舎暮らしをしたいと考えている女性の考え・シェアハウスの部屋や、わきあいあいのサポート内容・東京から浜田までの交通アクセス・浜田で楽しめるレジャー・問い合わせ先を記載した。



左：宿題を教えている様子、中央：農村散策の様子、右：座禅の様子



左：昔の遊び体験(花いちもんめの様子)の様子、右：パンフレット・チラシ作成の様子

※写真の掲載については、NPO法人わきあいあいから了解済。

③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

私は、NPO法人について特定非営利活動を行うことが目的としか認識していなかったが、本研修を受けて、活動の内容は子どもの健全育成・環境の保全・経済活動の活性化等、幅広いものだと感じた。本研修では、主に夏休み！はまだ自然冒険村2015年プログラム！のスタッフと東京都の若年女子を受け入れるためのシェアハウス準備作業を行った。夏休み！はまだ自然冒険村2015年プログラム！では、ただ子ども達を楽しませるというだけでなく、子ども達が自分達で考え行動できるような活動内容にしておき、成長させることを目的にしていた。初日に比べると子ども達は自分から積極的に食事の準備や話し合いをするようになっていた。シェアハウス準備作業についても、東京での若年貧困層の現状を分析して女性目線でチラシ作り等行い、浜田に呼び込んだ後に女性がどのような仕事をできるかも考えていることから、その活動に熱意を感じた。本研修で、NPO法人の実情や活動の意義への理解を深めることができた。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成28年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。